

～診療情報提供 EXCEL の使い方～

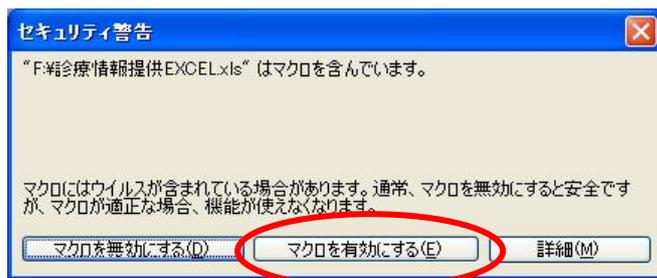
『診療情報提供 EXCEL』は、川崎市病院協会 会員病院向け診療情報提供書のひな形を作成するプログラムです。実行すると、エクセルに入力された情報を元に WORD 文書が作成されます。

1) 「診療情報提供 EXCEL」の起動

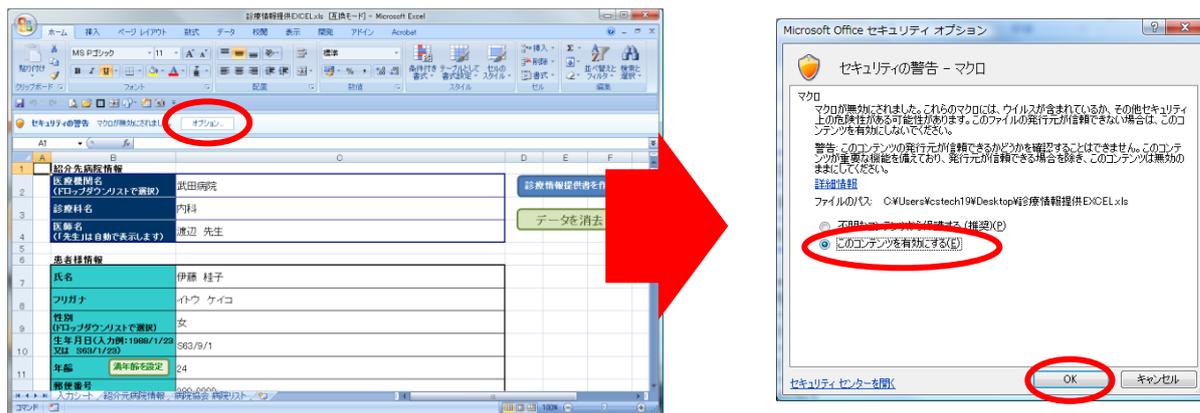
診療情報提供 EXCEL を起動します。

起動時、マクロを有効にするかどうかのメッセージが表示されますので、有効にしてください。

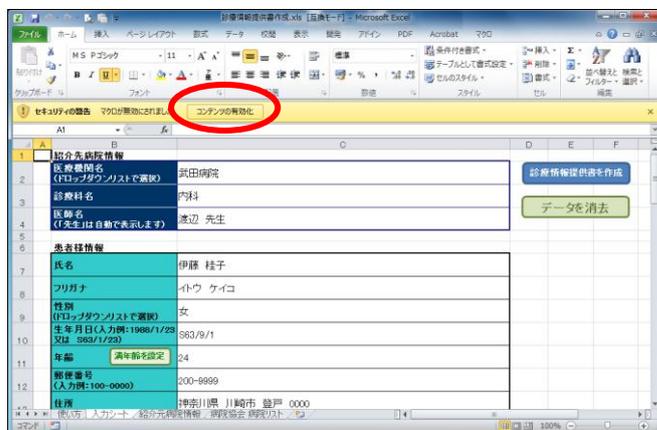
EXCEL2003 の表示例



EXCEL2007 の表示例



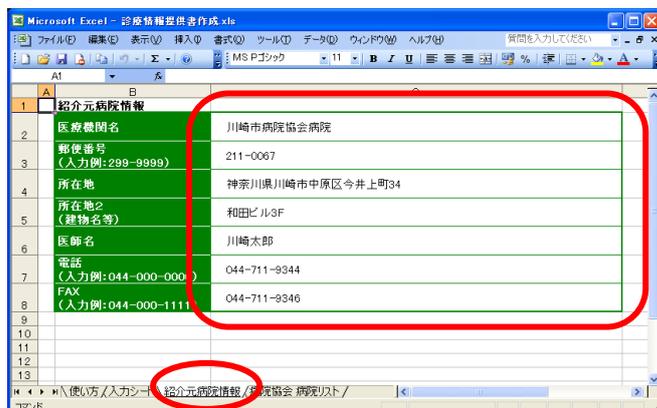
EXCEL2010 の表示例



2) 「紹介元病院情報」への入力

「紹介元病院情報」のシートを開き、自院の情報を入力します。

※ここで上書き保存すると、次回以降このシートの修正は必要ありません。

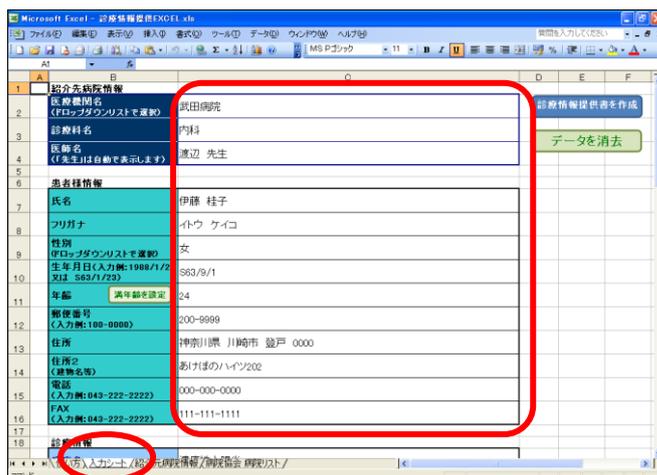


※行・列の挿入や削除は行わないでください。

※シート名は変更しないでください。

3) 「入力シート」への入力

「入力シート」を開き、紹介先病院や患者様の情報を入力します。



※「データを消去」のボタンをクリックすると、入力欄が空欄になります。

※行・列の挿入や削除は行わないでください。

※シートの複製・シート名の変更が可能です。

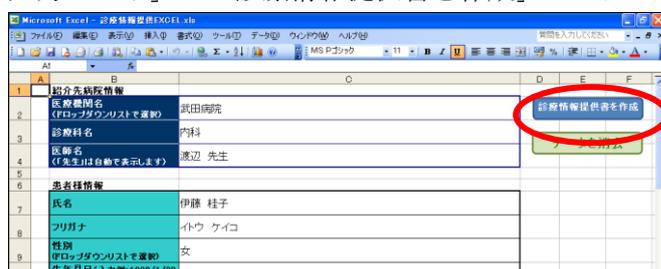
使用例1：宛先病院ごとにシートを作成し、宛先医療機関の入力を省力化したい

使用例2：紹介ごとにシートを作成し、過去の履歴として残したい

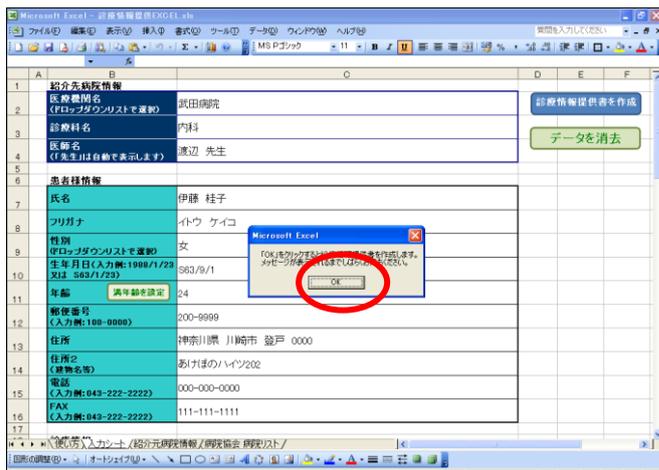
※患者名・フリガナ以外はWORDからも入力できますので空欄でも構いません。

4) 診療情報提供書の作成

「入力シート」の「診療情報提供書を作成」のボタンをクリックします。

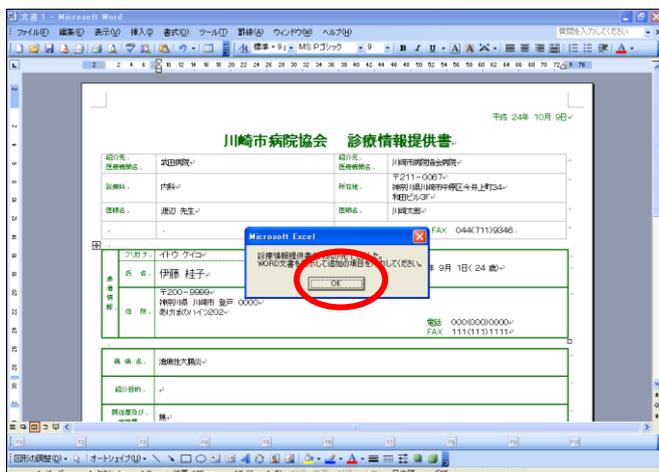


5) メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。

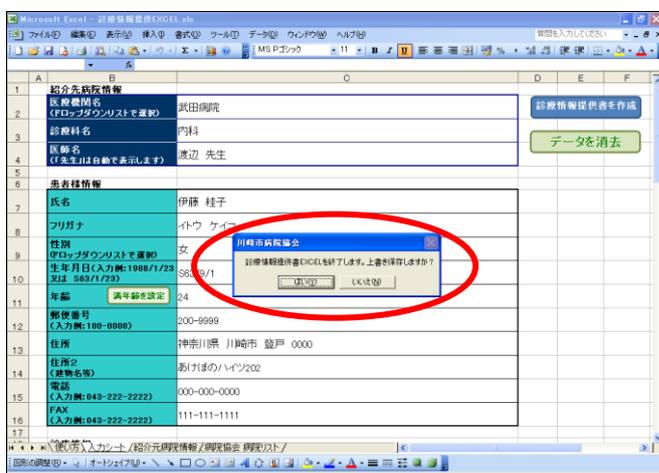


※WORD が起動して診療情報提供書を作成します。少し時間がかかりますのでしばらくお待ちください。

6) WORD が完成すると、メッセージが表示されますので、「OK」をクリックします。



7) EXCEL を上書きするかどうかのメッセージが表示されますので、必要に応じて「はい」か「いいえ」をクリックします。



8) WORD が表示されますので、検査結果などの項目を追加で入力してください。



9) 入力した WORD を、自由に保存してください。

※Word2003 の場合は、Adobe Acrobat がインストールされていない端末では PDF での保存ができませんので、Word 形式のまま保存してください。

※Word2007・Word2010 の場合は、PDF 形式で保存してください。